

呉秀三「精神病患者私宅監置ノ実況及ビ其統計的觀察」 刊行 100 周年記念 メンタルヘルスの集い(第 32 回日本精神保健会議)

当会の前身「精神病患者慈善救済会」を設立した東京帝国大学の呉秀三教授が、近代精神医療の原点となる「精神病患者私宅監置ノ実況及ビ其統計的觀察」を刊行してから、平成 30 年は 100 周年となります。本フォーラムでは呉秀三教授の実績に詳しい岡田靖雄先生と橋本明先生が対談して、改めて呉教授の業績に光を当てるとともに、精神医療、保健、福祉に携わる多職種の専門家によるシンポジウムを行い、我が国の精神医療の歴史を再検証し、現状を把握し、今後の精神医療、保健、福祉の改善を図る道を考えます。またフォーラムと併催で朝日スクエアにて呉秀三教授に関する資料を展示してその業績を伝えます。

日 時 2018 年 3 月 3 日(土) 10:00~16:00

会 場 有楽町朝日ホール(有楽町マリオン 11F)

テ ー マ “二重の不幸” から 100 年—わが国の精神医療がたどった道とこれから

参 加 費 無料(事前予約不要・先着 600 名)

主 催 公益財団法人日本精神衛生会

プログラム 午前の部(10:00~12:00)

主催者・来賓挨拶

ドキュメンタリー映画

「夜明け前—呉秀三と無名の精神障害者の 100 年」(予告編)

対談 「日本の精神医療における呉秀三先生の業績(仮題)」

岡田靖雄(精神科医療資料室・青柿舎)

橋本 明(愛知県立大学教育福祉学部教授)

紹介 広瀬徹也(公益財団法人日本精神衛生会)

午後の部(13:15~16:00)

シンポジウム 「“二重の不幸” から 100 年—わが国の精神医療がたどった道とこれから」

樋口輝彦(国立精神・神経医療研究センター名誉理事長)

日本うつ病センター理事長)

山本輝之(成城大学法学部教授)

田中秀一(読売新聞東京本社主任研究員)

山本深雪(大阪精神医療人権センター)

柏木一恵(公益社団法人日本精神保健福祉士協会会長)

コーディネーター

夏莉郁子(やきつべの径診療所)

藤井克徳(日本障害者協議会代表)

総合司会 池田真理(東京女子医科大学教授)

展示会 9:30~18:00 朝日スクエア A(有楽町マリオン)

問い合わせ 公益財団法人日本精神衛生会

☎ 03-3269-6932 E-mail: z-scishin@dc4.so-net.ne.jp